

**丹生川村の学校教育の基本方針**

- ・学校の教育目標具現に徹する学校経営をする。
- ・一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- ・人間尊重の気風がみなぎる学校作りに努める。
- ・安全で安心ができる学校作りに努める。
- ・保小中の連携及び交流を深める。
- ・学校・家庭・地域社会相互の信頼関係を深める。
- ・体験的・問題解決的な学習活動を工夫し、主体的に問題解決する資質や能力を育てる。

**学校の教育目標**  
心身ともにたくましく、  
進んで実践する子の育成

やさしい子 考える子  
じょうぶな子 はたらく子

**児童の実態**

- ・明朗活発で、素直な子どもらしい児童が多い。
- ・友達や学校の仲間を思いやる気持ちが育ってきている。
- ・勤労生産に対して喜びや値打ちを感じることができる児童が多い。
- ・教科学習での発言や練り合いに弱さがある。
- ・主体性は育ってきたが、創造的に活動を進めていく力が弱い。
- ・問題や課題を見出す力、自己を表現する力がやや弱い。

**学校課題**

- ・基礎基本の確実な定着を目指す教育の推進
- ・地域の教育力を生かした特色ある教育の推進
- ・「生きて働く力」を身につけさせる創造的・体験的学習の充実
- ・規範意識の高揚と道徳教育の充実

**総合的な学習の時間の目標**

**やなぎっ子タイム** **ふるさとを知り、ふるさとを愛する子の育成**

～勤労生産活動での気づきをきっかけにして～

**願う児童の姿**

- ・ふるさとの人やふるさとの文化にふれるなかで、ふるさとのよさを見つけることができる。
- ・ふるさとの一員として自分の生き方を考えたり、行動したりすることができる。
- ・地域に根ざした勤労生産活動を行い、一木一草にも心を寄せて世話をすることができる。
- ・自ら主体的、創造的に追究することができる。
- ・仲間とともに活動する喜びや、仲間の気持ちを大切にすることをすることができる。

**国際理解**

国際化の進むこれからの社会において児童が主体的に生きていくため、国際感覚を身に付ける。

**情報教育**

情報を選択したり、効果的に活用したりする力を身に付ける。

**総合的な学習の時間を進める基本的な考え方**

勤労生産活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱となる勤労生産活動の設定 1年：さつまいも 2年：きゅうりやとうもろこし 3年：トマト 4年：花 5年：米 6年：菊</li> <li>・勤労生産活動からの気づき生まれる工夫。主体的な取り組みの中から児童が自ら課題をもつことができるよう、願いや目的をもたせながら毎日の活動に取り組めるようにしていく。</li> <li>・活動の時と場の位置付け。毎朝10分間を「朝みどり活動」とし、世話や観察の時間を確保している。5回の実施で総合的な学習の1単位時間として位置付けている。</li> </ul>
総合的な学習で身に付けさせたい力と課題追究活動	<p>総合的な学習で身に付けさせたい力を、三つの知（自分知・方法知・内容知）とする。</p> <p>自分知：自分をどう生かし、どう生きるかにつなげる価値の発見、判断、選択。</p> <p>方法知：問題解決における子ども達の主体的な追求方法や自分を表す表現方法。</p> <p>内容知：学習活動を通して知り得た知識や考え、新たに生まれた課題など。</p> <p>勤労生産活動を通して生まれる総合的な学習で、どんな自分知を身に付けさせたいかを設定し、子どもたちの気づきから課題を見付け、自分知につながっていく追究活動を発展させていく。</p>
人とのふれあい、自分を表現する場の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を進める中で、仲間、家族、地域の人、関連ある人とのかわりを通しての学びを大切にしていく。そのため必要となってくるコミュニケーション能力の育成を図り、「話す・聞く」のスキルを意識させたり、総合的な学習の時間のまとめと発信の場として「やなぎっ子フェスタ」を行ったりする。</li> </ul>
教科等との関連を考慮した指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の基礎・基本を大切に指導を充実させることによって、総合的な学習の時間が効果的に展開されたと考え、教科と総合的な学習の時間との関わりを考え、より有機的な関連、効果的な指導法を検証していく。</li> </ul>

**各学年が設定した自分知**

**1・2年生：生活科**  
総合的な学習に発展する生活科の充実  
みどり活動を生かした年間指導計画の作成  
体を動かし体験的に学ぶことを大切にする。  
生活科の基礎・基本「自立への基礎」をしっかり身に付けさせるような学習形態や場の工夫

**3年生：トマト作り**  
仲間と力を合わせてトマト作りをすることによって、身近な地域を知り、仲間と協力することの喜びを知る。トマト名人との出会いから人とのふれあいを学ぶ。

**4年生：花作り**  
地域の人たちの思いを知り、丹生川村の人の心を知る。自分たちも頑張つて、美しい花を咲かせようという願いをもち、ふるさとを大切にしようとする思いをもつ。

**5年生：米作り**  
仲間と力を合わせて、自然に優しい米作り（=アイガモ米）に取り組む。アイガモ米のよさを地域の人に発信しよう。自分たちから地域に働きかけることで、地域の一員として生きる。

**6年生：菊作り**  
菊作りを通して地域の人と主体的に交流して知恵や思いを学ぶ。人のために自分ができることは何か考え、自ら行動を起こし、ふるさとを、地域の人を、大切にしようとする心をもつ。